



開所日時 月・水・木・金曜日
15時～18時
土曜日 10時～13時

児童デイ



「見える」言葉がけ

今月は日常できる言葉がけの工夫を紹介します。自閉症をもつ方は、耳から入る情報よりも目から入る情報の方が理解しやすいという特性をもっていますが、言葉がけにおいても同様で、具体的な声かけ、いわば「見える」声かけを行うと、うまく伝わる場合があります。

具体的な言葉がけ・・・

我々の日常の会話には「そこ」とか「ちょっと」とか「だいたい」とか、あいまいな表現が意外にもたくさん使われています。自閉症をもつ方はそうした表現をとらえにくいので、言葉を具体的に交換して伝えると良いです。

例えば、「その棚にあれを片づけて」を「黄色い箱にパズルをしまうよ」に変えるだけで、上手に片付けができることがあります。

時間の伝え方も、「ちょっと待って」から「あと3回」や「5時まで」に変えると伝わりやすいです。

また、注意をするときは、「ダメ」「いけません」「やめなさい」などの否定的な言葉ではなく、「廊下は歩きます」のように肯定的に、具体的に伝えます。禁止や否定をするだけでは代わりにどのような行動をとれば良いのかわからないからです。

手順や予定を伝える際は、「〇〇したら、△△して、終わったら□□に持って行って」のように一度に複数の情報を受け取ると混乱してしまうので、「〇〇してね」出来たら「次は△△します」といったように短い手順に分けると理解しやすいです。

我々職員も日常の支援の中で、言葉がけを改善するだけでびっくりするほど伝わる場合があります、その効果に驚かされています。

ビジネスマナー

定例勉強会でビジネスマナーを学ぶ・・・

先月、日本福祉大学社会福祉総合研修センターの中島愛子氏を迎えて、『ビジネスマナー』について定例勉強会を行いました。介護の分野でも、プロとしてのビジネススキルを確認する必要があり、人と接する職業としてマナーの基本からとても役立つことばかりでした。

第一印象を大切に・・・

まず、はじめての人と対面する時、よりよい第一印象が何より肝心で、そのためには「表情」「身だしなみ」「話し方」「立ち居振舞い」のそれぞれのコツを知ることが必要です。

○表情…空気をやわらげる笑顔で

○身だしなみ…TPOを踏まえ、清潔感、機能的、バランス(調和)を考える

○話し方 …声の大きさ、トーンはやや高め、笑声(えごえ)で話す

○立ち居振舞い…目を合わせて、お辞儀は腰から下げて、メリハリのある動作で

感じの良い話し方・・・

敬語の使い方など相手の心をとらえる言葉遣いとして「明るく、やさしく、美しく」を心がけて話すこと。

敬語の使い方は本当に難しいものがありますが、使い方次第で感じよく伝わるすることができます。

ケアの中で、つい慣れすぎて言葉が行き過ぎてしまったり、態度がおろそかになったりしがちですが、改めて「マナー」として心ずることを感じました。



ミニデイだよ!



食欲の秋と芸術の秋

まごころ広場の前のいちよう並木も色づき、秋が一段と深まってまいりました。

ある日のお散歩時、利用者さんと銀杏を拾いました。「素手で触っちゃいかんよ～。病院代の方が高つくで。」声をかけ合いながらの収穫です。翌週、スタッフが香りの強い実をきれいに取って、午前中利用者さんと一緒に銀杏の皮剥きをしました。その日の昼食メニューは銀杏ご飯!身近な秋の味を堪能しました。

10月13日には、真清田神社に関する16mmフィルム映写会をしました。映写機のカタカタカタという音がノスタルジックを誘います。昭和36年の楼門が竣工されている様子や今も残る商店や看板、当時の街の様子を「覚えとるよ。」「若い頃、真清田神社の神事を執り行う仕事をしたことがあった。」などと懐かしんでおられました。

また、一宮に伝わる昔話し『真清田神社の竜神』も観ました。水不足で困っていた心優しい村人たちを竜が自分を犠牲にして助けてくれたというお話しに、じわっと温かな気持ちにさせられました。

なかなか映画館に行く機会も減ってきたという利用者さん。次回は何を観みましょうか?



お花紙で作った祭り用の看板

心づれづれ



継続は力なり

「♪とんぼのめがねは、水色めがね、青いお空を飛んだから、飛んだから♪」

19年前の入浴時、無発語だった5才の息子が突然歌い始めた。週一回の言語訓練も、意味の有るものなのか解らないまま遠い道のりを通い続けた。

主治医からも「母の努力と想いに、頭が下がるが、能力と脳力が…」と言葉続かなく、「発語は無理」の判決、判定を下された気がし、無情と悔しい気がした。

19才で結婚、20才で出産の私には悩みを話す人も無く、与えられた多くの難題・課題を一つでも粉碎して、多くの笑顔の中で療育をし穏やかに暮らして行きたいの願いばかりでした。『継続は力なり』まさにその通りで、過重体重の息子を背負い続け、歌い続けた。家族は呆れていた。振り向かず、果てなく行ってしまふ息子を追いながらも語り続けた。

「とんぼのめがね」は最高に幸せで、最大の私へのご褒美でした。主治医からも「努力と想いの成果」と喜んでいただきました。息子が選択して障がい持参で生まれたのでは無く、この様にしか生んであげられなかったとの想いは生涯続くが、今は息子へ「あなたに出逢えて良かった。優しさの種は優しい大輪の花が咲くね、その事を教えてくれてありがとう。」と伝えたい。

野々垣 好恵

お知らせ

児童デイサービスからのお知らせです。
来る十一月二十八日(土)、午後三時より、一宮まごころのふれあい広場において家族懇談会を開催いたします。ご多用中、恐れ入りますがご出席頂きますようお願い致します。
ご家族の方々の話をお聞きして、より良いデイサービスにしたいと考えております。